

四、孤立的ニ頑強ナル抵抗ヲ爲ス敵ヲ攻撃スルニ方リテハ豫メ降伏勸告狀ヲ送附シ其志氣ヲ錯亂シ又ハ放火シ投降ノ已ムナキニ至ラシムルヲ有利トス

五、市街内ノ戰鬪ニ於テハ特ニ便衣隊及之ト住民トノ連絡關係ニ就キ特ニ注意ヲ拂フヲ要ス

其三、防禦

一、支那軍ハ砲兵威力薄弱ナルヲ以テ市街地ヲ占領シ施設宜敷ヲ得ハ小部隊ト雖大部隊ニ對シ長期抵抗ヲ持續シ得ヘシ

二、城壁ハ其規模ノ大小竝四周ノ地形等ニ應シ之ヲ防禦線ノ主體若クハ全部ト爲シ或ハ防禦主體ヲ城外ニ選ビ之ヲ複廓トシテ利用スヘシ

但シ何レノ場合ヲ問ハス常ニ決戰ヲ住民地外ニ求ムルノ著意ヲ忘ルヘカラス

三、防禦主線ヲ城壁上ニ選定シ陣地ヲ編成スル場合ニハ成ル可ク隅角部又ハ城門附近ニ複廓陣地ヲ構成シ壁下ノ側防ニ備ヘ壁上ニ於テハ突出部ヲ利用

1950

シ側防ノ手段ヲ講スルト共ニ壁上各處ニ據點ヲ編成シ動モスレハ陥リ易キ
一連配備ノ害ヲ除クヲ要ス

四、砲兵ハ城内ノ高處ニ配置シ山砲、歩兵砲等ハ之ヲ分割シテ壁上各據點ニ分
屬スルヲ有利トスルコト多シ

五、市街地防禦ニ方リテハ常ニ内部ニ於ケル便衣隊ノ活動竝火攻メニ對シ特
別ノ對策ヲ講スルコト肝要ナリ

六、小部隊ヲ以テ大市街地ヲ防禦スル場合ニハ市街ノ一角ヲ堅固ニ占領シ敵
兵市街ニ亂入シ指揮行ハレサルニ乘シ攻勢ヲ以テ敵ヲ市街地外ニ驅逐スル
ヲ可トス

七、残留セル住民ハ懷柔ニ努ムルト共ニ區域ヲ分チ警戒、防火、重要品監視等
ノ任務ヲ負擔セシメ且連坐法ヲ設ケ嚴罰ヲ以テ之ニ臨ムヲ可トスル場合多
シ

第五、追撃

1951